

平成29年度栃木市スポーツ推進審議会第1回会議録

日時：平成29年10月13日（金）午前10時

場所：栃木市国府公民館 中会議室

1 本審議会の出席委員は、次のとおりである。

黒後 洋委員、茅島有子委員、川津正夫委員、中村光一委員、三柴 茂委員、
猿山美代子委員、新村 尚委員、栃木 孝委員、小澤朝子委員

2 本審議会の欠席委員は、次のとおりである。

伊藤良子委員、小笠原義仁委員、館野美晴委員、小林勇夫委員

3 本審議会の出席事務局職員は、次のとおりである。

生涯学習部長	鶴飼信行	
スポーツ振興課長	横倉延男	
スポーツ振興課長補佐兼スポーツ振興係長		上岡 豊
スポーツ振興課長補佐		砂岡良治
スポーツ振興課スポーツ施設係長		手塚 満
スポーツ振興課大平スポーツ振興係長		関根和彦
スポーツ振興課長補佐兼藤岡スポーツ振興係長		加藤栄一
スポーツ振興課副主幹兼都賀スポーツ振興係長		中島茂晴
スポーツ振興課副主幹兼西方スポーツ振興係長		青木稔彦
スポーツ振興課副主幹兼岩舟スポーツ振興係長		小野里信孝

《会 議》

1. 開 会 10時02分

事務局より会議は公開で行うため傍聴席を用意している旨伝える。

2. 報告事項

栃木市スポーツ推進審議会条例第7条により、会長が議長となる。

(1) 第77回国民体育大会（とちぎ国体）の進捗状況について（事務局）

- ・（公財）日本体育協会より平成34年開催の第77回国民体育大会の開催として栃木県が内定された。
- ・本市では、デモンストレーション・スポーツとして、県ラグビーフットボール協会より「タグラグビー」を実施したい旨要望があり、県に開催希望申請書を提出した。

(2) 本市出身の主なスポーツ選手について（事務局）

昨年度委員にお示した後今年度4名新たに活躍された本市出身のスポーツ選手4名（下記）を紹介した。

- ・栃木ゴールデンブレーブス 板倉 寛樹（キャプテン）
- ・バレーボール 宇賀耶 早紀（2017デフリンピック 金）
- ・柔道 太田 彪雅（2017ユニバーシアード夏季 男子無差別級 金）
- ・車いすテニス 大谷桃子（2017世界ランキング21位）

市教育委員会では、市内小中学校44校を対象としてオリンピック・パラリンピックの価値・スポーツの価値を理解してもらうため、授業の中にオリンピックの歴史やスポーツの意

義について学ぶこと、外国についての知識や理解を深めることなどを取り入れ興味・関心を高めること、また「トップアスリートに学ぶ」と題しオリ・パラなど大きな大会への出場経験を持った方の話を聞き、交流を計ることでさらに興味関心を高めていくことを考えており、その際に今回提示した市内のスポーツ選手を考えている。

3. 議 事

(1) 栃木市スポーツ振興課上半期事業報告及び下半期事業計画（事務局）

本市スポーツ事業については、昨年度3月に事業報告を行ったので、今回は本年度既に実施した事業と今後実施を予定している事業について新規事業や昨年と変更があったものについて説明を行う。次回の審議会ではこうした事業によりスポーツマスタープラン策定後2年間について本市のスポーツ行政について検証を行なっていただく予定である。

- ・6月、7月に実施した「県南五市対抗親善総合競技大会」について本市が当番市として開催したが昭和42年以来50年ぶりに総合優勝を果たすことができた。

- ・7月より体育協会では、市のコミュニティFMである「FMくらら857」で冠番組「とちスポ!」の放送を開始した。第1回放送では会長が出演し県南五市大会の優勝報告の話題で番組に花を添える事ができ、リスナーからも良い反応があった。詳細についてはFMくらら857が発行する情報誌を配布したのでぜひご覧いただきたい。

- ・7月に「日独スポーツ少年団交流事業」を行った。マスタープランに掲げる基本施策の1つであるスポーツを通じた国際スポーツ交流の促進に基づくものとして、事業の受け入れを行ったもので、柔道・空手・剣道による高校生・大学生同士のスポーツ交流の他、市の職員によるドイツの暮らしについてホストファミリーへの研修会などを開催し、ドイツの学生たちの受け入れの準備を行った。

- ・8月に実施した「第5回市民スポーツフェスティバル」では、地域間の交流ができる競技のみ総合得点に反映されるよう事業の見直しを行ったほか、多くの選手が参加できるように長縄跳びと〇×クイズを導入した。

- ・10月29日に行われる予定で進めている「第5回栃木市ウォーキング大会」については、本年度は集計完了前の段階で募集人員1,000人に迫る申し込みがあり、好評を得ている。本事業と市民スポーツフェスティバルは合併後の市民の一体感の醸成を目的に市域全体で開催する事業として、お配りした教育委員会だよりの最新号でも事業の紹介させていただいた。昨年度の審議会において本市のスポーツについてはPR不足であるというご意見をいただいたので、市でもPRに力を入れているので例として示させていただく。また別のご意見ではスポーツ振興課以外の部署とスポーツ事業のコラボレーションはできないかというご意見も頂いたが、今年度はウォーキング大会前日に渡良瀬遊水地において遊水地課による「オーがビッツ・ラン」が行われることから、2課合同により事前にコース上のゴミ拾いを行うなど遊水地のクリーン作戦を行うことを予定している。

- 会 長 スポーツ少年団のドイツとの交流事業は日本体育協会の主催事業でよろしいか。また、今後こちらからドイツへ訪問するという予定はあるのか
- 事務局 日本体育協会主催で実施されている事業で、栃木県は平成8年度より受け入れを行っている。栃木市は今年初めてこの事業を行った。現在ドイツ訪問の予定はない。
- 会 長 栃木市は姉妹都市を結んでいないのか。マスタープランにこの国際交流を掲げたが予算の都合もありなかなか実現することと実現しても継続することが難しい。県や国の事業に参加する事など色々な事業とタイアップしながら国際交流を進めていくと良い。
- A委員 県南五市大会は、真岡市では出場者が集まらず参加できない競技も多かったと聞く。また、県南の市ということで下野市は入らないのか。
- 事務局 県南五市は総合大会のほか駅伝とスキーがある。最初は足利と佐野で始まりその

後小山と本市が加わり、最後に真岡が加わり五市となり今に至っている。下野市については、市の内部でも委員のご意見と同様の意見も出ており、機会があればそのような話を提供していきたい。

- 会長 一日で全競技を行うので施設のキャパシティの都合もあるかと思う。
- B委員 ウォーキング大会のような市全体で出来る事業をもっと増やしてほしい。
- 会長 事業や種目についてご意見、提言願いたい。
- C委員 市全体という意味では、市体育協会では6地区36専門部で、227の大会、86件の教室を行っている。
- D委員 PRについては色々な形でやっていただいている。(持参された市の広報を見せながら)全国優勝した國學院大學栃木高校の女子ラグビーの記事を表紙にこんなに大きく載せていただけた。FMくらの活用も効果的である。タグラグビーが、国体のデモンストレーション競技になるのは市の活性化にもつながると思う。ウォーキングのような大きな事業を行うとゴミの問題も生じるが他の部署と連携してクリーン作戦を行うのは参加者への意識啓発にもつながる良い行動であると思う。市民スポーツフェスティバルでの長縄跳びなど、参加しやすい種目の導入も良い。市役所のそばに住んでいるが、民間のスポーツクラブは夜まで利用者がいっぱいであり、市民のスポーツ・体力づくりへの関心が高まっているのを実感する。今後もPRに力を入れて市民に刺激を与えていただきたい。
- 会長 国体に向け正規種目の4競技について大規模な大会の誘致の計画はあるのか。
- 事務局 全国規模のリハーサル大会を行うことになる。
- 会長 ウォーキング大会の他元旦マラソンも市外の方は参加できるのか。走る距離はどのくらいなのか。
- 事務局 市外の方の参加も可能である。一番長い距離は10キロである。
- D委員 みかも山ウォーキングの募集定員が20名とは少ないと思うが。
- 事務局 昨年度の実績を示してあるが、実際の募集は40名である。この時期にこの地を利用したウォーキング事業が他にもあり1カ月に4回ほど集中しているため、参加者が分散されてしまう状況ではあるが、募集定員を目指したい。
- E委員 ウォーキング大会では、途中救護など完歩できないような事例は無いのか。
- 事務局 昨年の例では途中で体調を崩したような方はいなかった。体制としては救護車の配備及び救護担当を配置して傷病の対応をできるようにしている。
- F委員 岩舟健康マラソンは岩舟地域のみならず他地域からの参加もある。さらに、岩舟駅伝競走大会では神奈川県や福島県からの参加や、配布資料にも掲載されている生澤祐樹選手の参加もあった。
- 市職員も選手、ボランティアとして参加し市全体で関わる事業になっている。
- また9月に武道と果物のブドウを掛けた名称の武道大会の開催や、総合型スポーツクラブによる活動も盛んで、スポーツの普及・振興に取り組んでいる。
- 市民指導者やボランティアの育成・指導など職員が努力している部分は、今回のような会議資料には一切記載されていない。このような努力によりどのような効果があったか分かるような方法があればよいと思うのだが。

(2) その他

- 会長 マスタープランの評価について、事務局から何かありますか
- 事務局 マスタープランが平成28年3月に策定され今年度末でまる2年が経過する。委員の任期も1期2年が終わる時期と重なるため、マスタープランに記載されたスポーツ推進事業がきちんと実行されているか評価をしていただきたい。今まで事業については詳細を説明してきたが、施設などについては細かい説明をしていないので、資料については事前に送付させていただくので評価の参考にしていただきたい。評価と言っても細かく行うには時間が足りなくなると思われるので、実施の可否や進

- 会 長 抄などで簡易に評価できるスタイルを考えている。
G委員 コンパクトな資料を用意してほしい。
事務局 市内小中学校でどのような武道が取り入れられているか次回までに教えてほしい。
時間なども知りたい。
次回お知らせしたい。
4. その他 次回開催は平成30年2月から3月を予定している。
5. 閉 会 午前11時10分